



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月31日

上場会社名 **東ソー株式会社**
 コード番号 4042

上場取引所 東証一部
 URL <http://www.tosoh.co.jp>

代 表 者(役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営管理室長

(氏名)土屋 隆
 (氏名)石川 克美 TEL (03) 5427 - 5123

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	191,674	10.8	13,890	193.8	14,842	191.7	7,269	297.6
19年3月期第1四半期	173,067	23.2	4,728	△45.8	5,088	△47.3	1,828	△68.4
19年3月期	781,347		60,279		57,998		28,488	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	12	14	12	13
19年3月期第1四半期	3	06	—	—
19年3月期	47	60	47	59

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	806,528		232,264		23.5		316 43	
19年3月期第1四半期	723,146		157,335		21.8		263 19	
19年3月期	788,518		227,768		23.5		308 81	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物の 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	7,052		△ 15,152		13,427		32,261	
19年3月期第1四半期	1,173		△ 34,809		49,188		34,115	
19年3月期	51,127		△ 85,231		42,348		26,911	

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

中間期及び通期ともに、平成19年5月10日に発表した平成20年3月期の予想に変更はありません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	400,000	6.8	24,000	6.5	22,000	△4.9	12,000	4.5	20	04
通期	840,000	7.5	59,000	△2.1	54,000	△6.9	28,000	△1.7	46	75

※連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)のわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加により、景気は引き続き緩やかな拡大基調で推移いたしました。

化学業界を取り巻く環境につきましては、原油価格の高騰によりナフサ等の原燃料価格が急上昇しましたが、主力製品の海外市況は需給のタイト化を背景に上昇いたしました。

このような情勢の下、当社グループは、コア事業であるビニル・イソシアネート・チェーン事業及び機能商品事業の拡大に努力するとともに、原価低減及び経営全般の合理化に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、塩化ビニル樹脂やウレタン原料を始めとする主力製品の海外市況の上昇、国内販売価格の是正、機能商品事業の成長により、売上高は1,916億74百万円と前年同期に比べ186億7百万円の増収、経常利益は148億42百万円と前年同期に比べ97億54百万円、四半期純利益は72億69百万円と前年同期に比べ54億41百万円とそれぞれ大幅な増益となりました。

当第1四半期の事業別の概況は次のとおりです。

石油化学事業

オレフィン製品は、主原料であるナフサ等の価格が上昇いたしました。これに対し、クラッカー原料の多様化によりコストを引き下げるとともに、国内ではエチレン、プロピレン、アロマ製品の値上げを実施し、キュメン、スチレンモノマーの海外市況も上昇いたしました。また、クラッカーの定期修繕を昨年度に実施したため、販売数量は増加いたしました。

ポリエチレン樹脂は、国内外ともに出荷が増加し、国内ではナフサ価格の上昇を受けて値上げを実施いたしました。クロロブレンゴムは、海外市況が上昇いたしました。ペースト塩ビは、国内出荷が増加し、国内での値上げを実施いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ113億17百万円(21.2%)増加し648億14百万円となり、営業利益も前年同期に比べ22億24百万円(206.7%)増加し33億円となりました。

基礎原料事業

苛性ソーダは、昨年度定期修繕を実施したこと等の影響により、輸出を中心に出荷が増加いたしました。原燃料価格上昇に伴う値上げの実施により国内販売価格は上昇し、海外市況も上昇いたしました。塩化ビニルモノマーは、海外市況が上昇いたしました。塩化ビニル樹脂は、輸出数量が増加するとともに海外市況も上昇し、原燃料価格上昇に伴う値上げの実施により国内販売価格も上昇いたしました。

セメントは、官需の減少を好調な民間需要が補い国内出荷は堅調に推移しましたが、輸出は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ34億円(7.6%)増加し481億59百万円となり、営業利益は前年同期に比べ32億30百万円増加し1億62百万円となりました。

機能商品事業

エチレンアミン、臭素、重金属処理剤は、国内又は海外において値上げを実施いたしました。臭素系難燃剤は、輸出数量が減少いたしました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用カラム及び充填剤の販売が国内外ともに堅調に推移いたしました。診断関連商品は、全自動エンザイムイムノアッセイ装置及び体外診断用医薬品の出荷が国内外ともに好調に推移いたしました。また、糖尿病診断用自動ヘモグロビン分析装置及び関連試薬の出荷についても堅調に推移いたしました。

ジルコニアは、出荷が国内外ともに拡大いたしました。ゼオライトは自動車の排ガス浄化触媒用途を始めとして、出荷が国内外ともに伸長いたしました。電解二酸化マンガンは、海外におきましては災害用電池需要の減少により出荷が減少いたしました。

石英ガラスは、光学用材料の出荷は減少しましたが、半導体市場が好調に推移していることから、熔融石英材料の出荷は堅調に推移いたしました。スパッタリングターゲットは、半導体用途向けを中心として国内出荷は増加しましたが、液晶パネル市況の悪化の影響を受けたため、全体としては出荷が減少いたしました。

水処理装置・薬品は、電子産業関連の大型案件、ソリューション事業の好調により売上高が増加いたしました。

ウレタン原料は、国内における値上げの実施と海外市況の上昇により、売上高が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ 42 億 59 百万円(6.7%)増加し 677 億 50 百万円となり、営業利益も前年同期に比べ 36 億 81 百万円(59.1%)増加し 99 億 7 百万円となりました。

サービス事業

商社及び物流子会社の業績は堅調に推移いたしましたが、建設子会社の売上は減少いたしました。その結果、売上高は前年同期に比べ 3 億 71 百万円(3.3%)減少し 109 億 49 百万円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ 26 百万円(5.3%)増加し 5 億 19 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、日本ポリウレタン工業株式会社におけるMDI製造設備、南陽事業所における発電設備への投資による固定資産の増加等の結果、前期末に比べ180億9百万円増加し8,065億28百万円となりました。

負債は、借入金等の増加により、前期末に比べ135億14百万円増加し5,742億63百万円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上した結果、前期末に比べ44億95百万円増加し2,322億64百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物は、前期末に比べ53億50百万円増加し322億61百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、70億52百万円の収入となりました。法人税等の支払額が増加しましたが、税金等調整前四半期純利益の増益等により、前年同期に比べ58億79百万円収入が増加いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、151億52百万円の支出となりました。前年同期に比べ、設備投資額が減少したことなどにより、196億56百万円支出が減少いたしました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは前年同期に比べ255億35百万円支出が減少し、81億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、134億27百万円の収入となりました。前年同期に比べ、借入金の純増加額が減少したことなどにより、357億60百万円収入が減少いたしました。

3. その他

会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準等に一部簡便的な手続きを用いております。

4. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前 期 平成19年3月31日現在		当第1四半期 平成19年6月30日現在		増 減	前年同四半期 平成18年6月30日現在	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
I 流動資産	370,197	46.9	379,704	47.1	9,507	331,762	45.9
現金及び預金	27,674		32,919		5,244	35,742	
受取手形及び売掛金	206,590		205,680		△ 909	166,591	
棚卸資産	114,227		120,326		6,098	106,939	
その他	21,704		20,778		△ 925	22,488	
II 固定資産	418,321	53.1	426,823	52.9	8,501	391,384	54.1
有形固定資産	314,706		322,776		8,070	294,899	
無形固定資産	13,336		13,424		87	10,558	
投資その他の資産	90,278		90,622		343	85,926	
資産合計	788,518	100.0	806,528	100.0	18,009	723,146	100.0

(負債の部)		%		%			%
I 流動負債	357,673	45.4	368,973	45.7	11,300	328,874	45.5
支払手形及び買掛金	117,316		124,463		7,147	95,794	
短期借入金	179,500		192,146		12,645	184,813	
一年内償還社債	5,000		5,000		-	7,000	
その他	55,856		47,363		△ 8,492	41,266	
II 固定負債	203,075	25.7	205,290	25.5	2,214	198,133	27.4
社債	20,000		20,000		-	25,000	
長期借入金	149,965		153,684		3,719	141,912	
退職給付引当金	20,934		20,375		△ 559	21,342	
その他	12,176		11,230		△ 945	9,878	
負債合計	560,749	71.1	574,263	71.2	13,514	527,007	72.9
(少数株主持分)							
少数株主持分	-	-	-	-	-	38,802	5.3
(資本の部)							
I 資本金	-	-	-	-	-	40,633	5.6
II 資本剰余金	-	-	-	-	-	29,970	4.2
III 利益剰余金	-	-	-	-	-	79,597	11.0
IV その他有価証券評価差額金	-	-	-	-	-	11,095	1.5
V 為替換算調整勘定	-	-	-	-	-	△ 2,859	△ 0.4
VI 自己株式	-	-	-	-	-	△ 1,102	△ 0.1
資本合計	-	-	-	-	-	157,335	21.8
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	-	-	-	723,146	100.0

(単位:百万円)

科 目	前 期 平成19年3月31日現在		当第1四半期 平成19年6月30日現在		増 減 金 額	前年同四半期 平成18年6月30日現在	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(純資産の部)							
I 株主資本	174,536	22.2	178,756	22.2	4,220	-	-
資本金	40,633	5.2	40,633	5.0	-	-	-
資本剰余金	30,285	3.9	30,285	3.8	-	-	-
利益剰余金	104,409	13.2	108,680	13.5	4,270	-	-
自己株式	△ 792	△ 0.1	△ 842	△ 0.1	△ 50	-	-
II 評価・換算差額等	10,437	1.3	10,760	1.3	323	-	-
その他有価証券評価差額金	11,189	1.4	11,525	1.4	335	-	-
繰延ヘッジ損益	6	0.0	4	0.0	△ 1	-	-
土地再評価差額金	816	0.1	816	0.1	-	-	-
為替換算調整勘定	△ 1,575	△ 0.2	△ 1,585	△ 0.2	△ 10	-	-
III 新株予約権	75	0.0	75	0.0	-	-	-
IV 少数株主持分	42,720	5.4	42,671	5.3	△ 48	-	-
純資産合計	227,768	28.9	232,264	28.8	4,495	-	-
負債純資産合計	788,518	100.0	806,528	100.0	18,009	-	-

(2) (要約)連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前年同四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		当第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		増 減		前 期 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	173,067	100.0	191,674	100.0	18,607	10.8	781,347	100.0
II 売上原価	143,231	82.8	152,315	79.5	9,084	6.3	619,999	79.4
売上総利益	29,835	17.2	39,358	20.5	9,523	31.9	161,347	20.6
III 販売費及び一般管理費	25,107	14.5	25,468	13.3	361	1.4	101,068	12.9
営業利益	4,728	2.7	13,890	7.2	9,162	193.8	60,279	7.7
IV 営業外収益	1,962	1.1	2,846	1.5	884	45.1	5,232	0.7
受取利息及び受取配当金	634		747		113		1,237	
その他営業外収益	1,328		2,099		770		3,994	
V 営業外費用	1,602	0.9	1,894	1.0	292	18.2	7,513	1.0
支払利息	1,046		1,278		232		4,970	
持分法による投資損失	66		467		401		553	
その他営業外費用	490		148		△ 341		1,989	
経常利益	5,088	2.9	14,842	7.7	9,754	191.7	57,998	7.4
VI 特別利益	12	0.0	14	0.0	1	15.5	510	0.1
VII 特別損失	495	0.3	211	0.1	△ 284	△57.4	3,027	0.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,604	2.7	14,645	7.6	10,041	218.1	55,481	7.1
法人税等	2,869	1.7	7,184	3.7	4,315	150.4	23,799	3.0
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 93	△ 0.1	191	0.1	284	△304.9	3,193	0.4
四半期(当期)純利益	1,828	1.1	7,269	3.8	5,441	297.6	28,488	3.6

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前年同四半期 自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日	当第1四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日	前 期 自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		4,604	14,645	55,481
減価償却費		8,668	8,741	35,373
売上債権の減少額 (△増加額)		4,470	725	△ 35,269
棚卸資産の減少額 (△増加額)	△	5,576	△ 6,262	△ 12,485
仕入債務の増加額 (△減少額)		1,016	6,320	20,713
法人税等の支払額	△	11,053	△ 15,409	△ 16,739
その他	△	957	△ 1,708	4,054
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,173	7,052	51,127
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
固定資産の取得による支出	△	30,945	△ 15,307	△ 79,428
投資有価証券の取得による支出	△	7,159	△ 3	△ 7,636
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入		3,566	-	3,566
その他	△	270	158	△ 1,733
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 34,809	△ 15,152	△ 85,231
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入金・社債の純増加額 (△減少額)		45,746	16,763	41,224
配当金の支払額	△	1,798	△ 2,995	△ 3,587
少数株主からの払込みによる収入		4,833	-	4,833
その他		406	△ 340	△ 121
財務活動によるキャッシュ・フロー		49,188	13,427	42,348
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		27	22	130
V 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)		15,580	5,350	8,375
VI 現金及び現金同等物の期首残高		18,408	26,911	18,408
VII 新規連結・連結除外等に伴う 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)		126	-	126
VIII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		34,115	32,261	26,911

(4) 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	53,496	44,758	63,491	11,320	173,067
営業費用	52,420	47,826	57,265	10,827	168,339
営業利益(△損失)	1,076	△ 3,067	6,226	493	4,728

当第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	64,814	48,159	67,750	10,949	191,674
営業費用	61,514	47,997	57,843	10,429	177,784
営業利益	3,300	162	9,907	519	13,890

前期 (自平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	242,290	192,334	299,352	47,369	781,347
営業費用	228,244	186,225	262,192	44,404	721,067
営業利益	14,046	6,108	37,159	2,965	60,279